



目指す学校像

人との関わりの中で 主体的に学び 夢や未来を描き 共に成長できる学校

### 緑の風 が吹く学校

(「緑…さわやかで安らげる 落ち着いた心地よさ」「風が吹く…学校風土」)

明るく温かく 個性を認め合い だれもが心地よく生活できる学校

学校教育目標 (目指す生徒像)

心優しく 自ら考え 進んで実践し 共によりよく生きる生徒の育成

校訓

感謝

探究

実践

人とのかかわり

- 土台となる生徒理解と信頼関係づくり
- 命・体・心を守る 安心安全な環境づくり
- あたりまえを考える よりよい風土づくり
- 組織的で迅速な対応



心地よく過ごす

学びのあり方

- 規律とやりとり 対話的に学ぶ授業
- ICTの活用と 主体的に学ぶ授業
- 学びの振り返りと「わかる」授業
- T Sの継続進化

心地よく学ぶ



行事と集団活動

- 縦割り活動の充実 集団での感動体験
- 思いあふれる 学年学級づくり
- 40周年節目の 2大行事と愛校心
- 持続可能な企画取組

心地よくつながる



生徒訓

「富中 プライド」「1UP」

グリーン

あたりまえを

「富中でよかった！」  
信頼される学校づくり



富中職員としての プライド・チーム力  
魅力的な大人に1UP

グリーン

富中校区キャリア教育「つけたいカ」の共有

とりくむカ

課題対応能力

み つめるカ

自己理解力  
自己管理能力

つ ながるカ

人間関係形成能力  
社会形成能力

か ねえるカ

キャリア  
プランニング能力

経  
営  
の  
土  
台

基盤となる

発達支援教育 (富中UD) ほたる学級

連携・協働

富塚地区 コミュニティスクール



1 はじめに

学校は、心地よく集まりたいと思える、楽しみを見つけたり何かをやってみようと思えたりするような「子供たちが人との関わりの中で（悩み挑戦成功失敗しながら）成長できるとくべつなところ」でありたいと考えます

2 社会の現状の変化

(1) 第4期教育振興基本計画 R5～R9より（4年目）

・将来の予測が困難なVUCAの時代○少子化人口減少高齢化○地球規模課題○低い労働生産性学ばない社会人○国や社会に対する意識の低下

(2) 新学習指導要領より（5年目）

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」（ICT活用）を充実させ「主体的・対話的で深い学び」のある授業改善につなげ3つの資質能力

(①知識及び技能②思考力判断力表現力等③学びに向かう力、人間性)を育成する

(3) 第4次浜松市教育総合計画 R7～R16より（2年目）

・基本理念「描く夢や未来の実現」3つのコンセプト ①主体性 ②多様性・包摂性 ③信頼・協働

・目指す子供の姿

「自分らしさを大切にすることも」「他者と協働し、主体的に行動できることも」「自己調整しながら、粘り強く取り組むことも」

・目指す教職員の姿

「こどもの自分らしさを受け止める教職員」「愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員」「専門性と指導力を磨き続ける教職員」

・3つの方針「未来を創る」「魅力ある環境」「連携・協働」と5つの政策

\*\*\*\*\*

「あたりまえ」が「あたりまえ」でなくなる？未来を生きる

3 富中の現状 R7学校評価アンケートより

○授業で知りたいできるようになりたいという気持ちになった

肯定的回答 生徒 90.2%

○行事を通じて、仲間とともに活動する楽しさが実感できた

肯定的回答 生徒 94.2% 保護者 94.2%

○学校や学級では互いを思いやり、認め合って生活している

○授業・行事・思いやり

肯定的回答 生徒 91.5%

●目標を達成するために計画的に実践することができた

否定的回答 生徒 28.7% 保護者 29.7%

●係活動の仕事や清掃などを、自ら進んで行っている

否定的回答 生徒 21.3%

●困ったことがあった時、生活記録の日記や生活アンケートなどを活用して伝えていくことができる

否定的回答 生徒 29.8%

●自分の将来の姿を考えることができた

否定的回答 生徒 37.3% 教職員 28.0%

\*\*\*\*\* ●計画性・清掃・相談・将来 \*\*\*\*\*

4 これらを受けて、富塚中学校では

(1) 目指す学校像

○人との関わりの中で、主体的に学び、夢や未来を描き、共に成長できる学校

○明るく温かく、個性を認め合い、だれもが心地よく生活できる学校

「緑の風が吹く」学校

緑（さわやかで落ち着いた、心地よくいられる）の学校風土づくり

→信頼される学校づくり

(2) 学校教育目標

「心優しく、自ら考え進んで実践し、共によりよく生きる 生徒の育成」

(3) 校訓（目指す生徒像）＝これまで大切にされてきたもの

↓ 創立時経営書より

「明るい愛の心 厳しく求める智の世界 たくましく磨き合う業の実現をめざす校風の基本理念である」

感謝 人の気持ちに気づく優しさを持つ生徒

探究 わかるまで考えぬく生徒

実践 ためらわず実践する生徒 (創立時経営書より)

- ・ 思いやりをもって人との関わり、体験から学ぶ
- ・ 不安定の中を自ら考え前向きに生きる
- ・ 何かに夢中になって取り組む

(4) 生徒訓（これまで大切にされていたものの継承）

- 「富中（グリーン）プライド」 ～ 「富中生のあたりまえ」を考える、実践する  
「あたりまえの日常」に感謝する～
- 「（あたりまえを）1UP」 ～ あたり前の大切さに気づき考える、実践する  
自分にとっての1UP、富中にとっての1UP～

(5) 今年度の重点（目指す生徒の実現のために）

これまで培われてきた（夢や未来を描く）「富中校区キャリア教育」の視点・地域やCSとの関わり）と（「共に」成長する視点である）「発達支援教育（富中UD）」を基盤に※自己の将来を見据えた実践、計画的継続的な努力

① 感謝…温かく丁寧な生徒とのかかわり（人とのかかわり）

- ・土台となる生徒理解と些細なことでも相談できる生徒・保護者との「困った」が言える信頼関係づくり
- ・寄り添い悩み、愛情を持って叱り、共に喜び、失敗から学ぶ 温かい声かけ
- ・ほたる学級生徒との交流、不登校、校内外適応指導教室利用生徒への支援、日ごろからの関わり
- ・「命・体・心」安心と安全な環境づくり、施設管理
- ・「あいさつ、返事」「清掃」「あたりまえ」のよりよい風土づくり
- ・いじめ対応・不登校対応、迅速で手厚い組織的な対応

丁寧な生徒理解と生徒・保護者との確かな信頼関係づくり、組織的な生徒指導体制づくり…心地よく過ごす

② 探求…教科指導・授業の充実（学びのあり方）

- ・学習規律が整った落ち着きある授業 …姿勢、学びに向かう姿
- ・他者とのやりとりがある授業 …対話的で深い学びへ
- ・生徒が進める授業 …主体的な学び、学習計画表の活用、富中だからこそ
- ・ICTを活用した授業 …個別最適な学びの一助
- ・「わかる」授業、しかけのある授業、学びの振り返り…学びのきっかけづくり
- ・伝統のTSの継続進化

授業参観、教科研修、生徒の声（学習アンケート）を生かした授業改善、授業づくり …心地よく学ぶ

③ 実践…工夫ある学校行事、体験を通した温かな集団づくり（行事と集団活動）

- ・「生徒が主体となり、教師が支援する」実行委員会による特別活動
- ・思いあふれる学年学級づくり、「学級を学年で」育てる
- ※R8…「根付く」「BE LOVED」「ひまわり」「優しく照らす光に」「連獅子」
- ・二大行事の中で40周年に思いをはせる機会を（種目、プログラム）愛校心の醸成  
縦割り活動のさらなる充実「学校全体で」育てる
- ・集団での感動体験、宿泊的行事、儀式的行事、集団で集まる機会の価値づけ

生徒や教員の思いにあふれた集団作り、温かい居場所づくり …心地よくつながる

※持続可能な行事や活動の企画、変わっていく部活動の在り方の模索

=====

<目指す教職員像> …富中に勤務する職員として

- ・富中職員としての（グリーン）プライド ～富中職員のあたりまえを実践、あたりまえの日常への感謝
- ・魅力的な大人になるための 自分にとっての1UP、富中職員としての1UP  
→富中職員のチーム力、指導力の育成と「働き方改革、働きがい改革」 不祥事・体罰・不適切な言動ゼロ



## 5 重点の具体

### (1) 心地よく過ごすための温かく丁寧な生徒とのかかわり（確かな生徒指導）

- ・ 日常を大切に、温かい声掛け、語りかけ、健康観察と生活記録「富中プライド」を通したやりとり
- ・ 良い「具体」を見つめて、認めて、伝える 三者面談、電話連絡 家庭との温かく丁寧な連携
- ・ 子供の特性と環境の把握、情報共有とアセスメント
- ・ 生徒指導主事、学年生活部を中心とした生活部会の充実、組織的な生徒指導体制
- ・ 「富中プライド」…よりよい「あたりまえ」を考え、実践する風土づくり
- ・ いじめを許さない、見逃さない、アンテナ高く素早い対応、生活アンケートの実施と活用
- ・ 不登校、校内外適応指導教室、保健室を利用する生徒への温かいかかわり、対応 合理的配慮
- ・ S C、S S W、児童相談所、少年サポートセンター等外部機関との必要に応じた連携
- ・ 引渡訓練を実施、放課後の教室施設、11月後半下校時刻、登校時刻の見直し
- ・ あいさつ、清掃、日常のあたりまえを大切にする、清掃曜日の変更

### (2) 心地よく学ぶためのよりよい学びのあり方の推進（教科指導の充実、授業改善）

- ・ 学習規律とやりとりのある授業（姿勢、学びに向かう姿、主体的対話的で深い学びへ）
- ・ I C Tを活用した授業「生徒に任せる授業」学習計画表の活用（個別最適な学びの一助）
- ・ わかる授業、しかけの工夫がある授業（学びのきっかけづくり）
- ・ 伝統のT Sの継続進化、地域から未来・将来を考える視点
- ・ 学習アンケート、授業参観、教科研修を通した授業改善授業研究、振り返りの充実
- ・ 指導と評価の一体化 評価・評定のあり方の研修

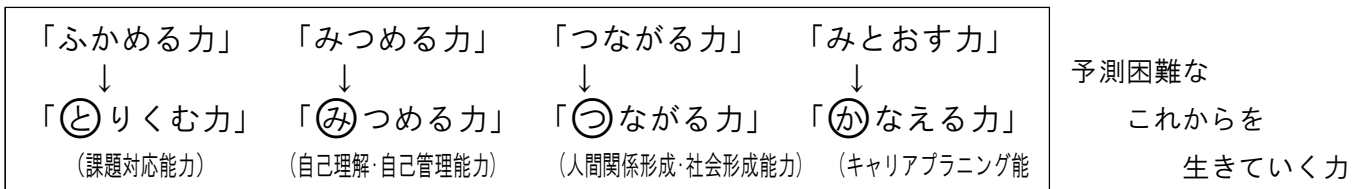
### (3) 心地よくつながる行事と集団活動の実践（共によりよく生きる集団活動の工夫）

- ・ 2大行事をはじめとした生徒主体の縦割り活動の充実、発展、よりよい学校風土づくり
- ・ 実行委員が中心となり主体的につくる感動ある飛騨高山体験学習、修学旅行
- ・ 学年主任を中心とした温かく心地よい学年づくり、学年委員会の充実、学年付職員の学級フォロー体制
- ・ 学級担任の温かく心地よい学級づくり、短学活等の工夫、学年道徳
- ・ 文化発表会、体育大会における周年種目やプログラム、愛校心の醸成
- ・ 持続可能な行事等の企画、部活動のあり方の模索

## 6 学校づくりのための経営の土台、基盤となるもの

### (1) 富中校区キャリア教育「つけたい力」の共有

「社会を生き抜く力」を身に付けるための、4つの基礎的・汎用的能力の育成



- ・ 年間指導計画に基づいたキャリア教育の実践（特別活動、各教科等）
- ・ 富中1UPパスポート（キャリアパスポート）の活用（振り返り・評価）と基礎的・汎用的能力の育成
- ・ 学んだことを自己の成長につなげる、自己の将来を見据えた取り組み、2年職場体験

### (2) 発達支援教育の考え方を中心に据える

- ・ 授業のユニバーサルデザイン「富中UD」
- ・ 発達支援C D、発達支援学級担任、発達支援教室指導員、校内学びの教室支援員等との連携
- ・ 「発達支援学級の安定がその学校の基盤」ほたる学級生徒、個々への支援、授業交流、学級交流
- ・ S R（校内適応指導教室）利用生徒へのより丁寧なかかわり

### (3) 地域への愛と誇り、地域参画の意識啓発・態度育成、コミュニティスクール（信頼・協働）

本校は、地域の支援・協力があってこそ、充実した学校生活が成り立っている。このことは、常に忘れてはならない。また、生徒が活躍する場を提供していただいていることは、生徒の自信・自己有用感を高めるとともに、生徒自身が、地域のみなさんに信頼される機会にもなっている。さらに、地域が学校を評価し、協力していただけることが、さらに生徒のためになる（プラスのスパイラル）。

- ・ ボランティア活動への積極的な参加、地域防災訓練への参加、地域参画の意識啓発
- ・ 地域人財を活用した授業等での連携（コムスク面談等）、CSコーディネーターとの協働の推進
- ・ 学校公開、学校だより、ホームページ、ブログ等での情報発信、さくら連絡網の活用
- ・ 三者面談、家庭訪問、電話による家庭との温かく丁寧な連携
- ・ PTA活動と連携した保護者への啓発と伝統あるコミュニティスクールの継承と充実

### (4) 目指す教職員像（富中に勤めるものとして）

富中職員としてのグリーン（さわやかで信頼される安心される）プライド あたりまえを実践する

#### ① 子供の自分らしさを受け止める教職員

- ・ 子供は成長の途上にある一個の人格として認められるべき存在であるという意識
- ・ 子供の成長を信じ、一人一人に未来への夢や希望をもたせ、個性を伸ばそうとできる
- ・ 自らの自分らしさを大切に、子供のための様々な仕事の工夫を楽しむ

#### ② 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員

- ・ 心を込めた指導、称揚、説諭できる教職員
- ・ 熱い思いを語り、共に熱中し、泣き、笑い、感動を共有する
- ・ 信用失墜行為厳禁 不祥事・体罰・不適切な言動ゼロ

#### ③ 専門性と指導力を磨き続ける教職員 「学ぶとは誠実を胸に刻むことである」

- ・ 教職員育成指標をもとにキャリアステージを意識した研修、自己研鑽
- ・ 子供から学ぶ、他者から学ぶ 自ら学ぶ、時代から学ぶ、率先垂範、切磋琢磨できる
- ・ 組織の中の自己の役割とその意義を自覚し、「自分事」として機能 集団として活力を生み出す
- ・ 適切な事務管理、事務センターとしての役割自覚と確かな業務支援

#### ④ 職員集団として

- ・ 良さを認め合い、弱さを見せ合い、補い支え合える仲間としての教職員集団、チーム力 報連相
- ・ 自分と周りの人の命・体・心を大切にできる、何はともあれ健康第一
- ・ 働き方改革を通して、より充実した教職生活を確立、時間外在校等時間の縮減
- ・ 月に一度の早く帰ろうデーの設定、全市的な留守番電話の導入設置
- ・ 年に一度の記念日休暇の活用、自己実現の時間の確保

魅力的な大人への1UP（魅力的な大人から子供は学ぶ）に努める

## 7 おわりに

子供も大人も「富中で良かった！」でありたい